

環境経営レポート 2025 年度版

活動期間：2025年1月～12月

発行：2026年3月



環境省
エコアクション21
認証番号0005983

はじめに

<産業用ロボット事業>

私たち株式会社アイエイアイは、静岡県静岡市清水区に本社を置く、小型産業用ロボットのリーディングカンパニーです。

単軸・直交ロボットでは、国内・海外ともにトップシェアを誇っています。

数多くの営業拠点での充実したサポート体制により、自動化の進む自動車業界を中心に、電子部品・精密機器、家電、液晶・半導体、物流業界をはじめ、食品・医薬品・化粧品などさまざまな製造現場において幅広いお客様の生産性向上に貢献し、ものづくりを支えています。

主力製品である「エレシリンダー」、「ロボシリンダー」は、省エネ性能に優れており、工場のCO₂排出量を抑え、温暖化防止に貢献する環境に優しい製品です。

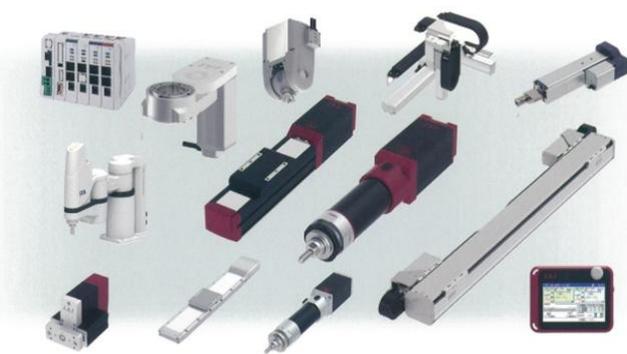
<エコファーム事業(農業研究部門)>

2007年1月にエコファーム部(農業研究部門)を設立しました。化学合成農薬及び化学合成肥料を使用しない農法の開発と普及に努めています。

地球環境に配慮した環境経営を行う企業として、企業活動のあらゆる面で積極的に環境負荷低減活動を進めています。

<産業用ロボット事業>アイエイアイ製品の紹介 (自動化ライン例)

<p>① スライダータイプ</p> <p>長距離・水平搬送に ストローク: 25~4155mm 可搬質量: ~水平400/垂直80kg 速度: ~3000mm/s</p>		<p>⑦ ロータリー</p> <p>回転・インデックステーブルに 本体幅: 45~180mm 最大トルク: 0.24~75N</p>
<p>② 直交ロボット</p> <p>ピック&プレース・検査に 軸数: 2~6軸 ベース軸可動範囲: 50~4155mm 可搬質量: ~90kg</p>		<p>⑧ テーブルトップロボット</p> <p>セル生産に (コントローラー、電源内蔵) ベース軸可動範囲: 200~500mm 可搬質量: ~30kg</p>
<p>③ グリッパー</p> <p>内径/外形把持で持ち上げる用途に ストローク: 2~130mm(片側) 最大把持力: 10~880N(両側)</p>		<p>⑨ テーブルタイプ</p> <p>取付け簡便 スペース確保が必要な場合に ストローク: 20~390mm 可搬質量: ~水平30/垂直24kg</p>
<p>④ 直交型6軸ロボット</p> <p>ローダー・アンローダーに ベース軸可動範囲: 50~1100mm 可搬質量: ~2kg</p>		<p>⑩ ラジアルシリンダー*</p> <p>ラジアル荷重がかかる 押付け/引張りをする際に ストローク: 25~800mm 可搬質量: ~水平300/垂直150kg</p>
<p>⑤ エレシリンダー*</p> <p>2点位置決め 価格: ¥27,500~(コントローラー内蔵) 製品: スライダー・ロッド・ラジアルシリンダー* テーブル・グリッパー・ロータリー ストッパー・クリーン・防塵防滴</p>	<p>⑥ クリーン・防塵防滴</p> <p>クリーンルーム内 粉塵や水のかかる環境に 製品: スライダー・ロッド ラジアルシリンダー・グリッパー ロータリー・スカラロボット</p>	<p>⑪ スカラロボット</p> <p>塗布作業 高速バレイス動作に アーム長: 180~1200mm 可搬質量: ~50kg</p>
	<p>⑫ コントローラー</p> <p>コンパクトかつ多機能! ・異なるモーター種類の混在可能。 ・直接数値指定や移動中の速度変更。 ・予兆検知など機能が豊富。 ・わかりやすいティーチングツールも充実</p>	



電動アクチュエーターからコントローラー、スカラロボットまで、一貫生産しています。

<エコファーム事業(農業研究部門)>



アイエイアイは持続可能型農業にも挑戦しています。

目次

1 組織の概要	
1-1 会社概要(2026年2月1日現在).....	3
1-2 認証・登録の対象組織.....	5
2 対象範囲	
2-1 組織図.....	6
2-2 役割分担.....	6
3 環境経営方針	7
4 環境経営目標	
4-1 2025年度目標設定について.....	8
5 環境経営目標と実績	
5-1 数値目標及び実績.....	9
5-2 数値目標及び実績のグラフ.....	10
6 環境活動計画と取組事例	
6-1 二酸化炭素排出量.....	11
6-2 廃棄物排出量.....	12
6-3 水使用量.....	12
6-4 環境負荷物質の適正管理.....	13
6-5 自らが生産・販売・提供する製品.....	13
7 環境保全と地域貢献活動	
7-1 富士宮社有林の森林整備について.....	15
7-2 里山の環境保全及び耕作放棄地の有効活用技術取組事例.....	15
7-3 環境事故訓練と法規遵守.....	18
7-4 地域コミュニケーション.....	19
7-5 継続的な人材の育成(技能五輪への挑戦).....	23
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無	24
9 代表者による全体評価と見直し結果	26

1 組織の概要

1-1 会社概要(2026年2月1日現在)

会社名 : 株式会社アイエイアイ
 代表者 : 代表取締役社長 石田 徹
 所在地(本社) : 静岡県静岡市清水区庵原町 1210

事業所所在地	本社・本社工場 (静岡営業所含む)	静岡県静岡市清水区庵原町 1210 TEL 054-364-5301 FAX 054-364-5182
 本社・本社工場	尾羽第一工場	静岡県静岡市清水区尾羽 577-1 TEL 054-333-9415 FAX 054-371-0081
	尾羽第二工場	静岡県静岡市清水区尾羽 580-1 TEL 054-364-8000 FAX 054-366-6311
 尾羽第一工場	富士宮工場	静岡県富士宮市内房 1700 番地 TEL 0544-29-2500 FAX 0544-29-2505
	東京営業所	東京都港区芝 3-24-7 TEL 03-5419-1601 FAX 03-3455-5707
 尾羽第二工場	大阪営業所	大阪府大阪市北区中之島 6-2-40 TEL 06-6479-0331 FAX 06-6479-0236
	名古屋営業所	愛知県名古屋市中区栄 5-28-12 TEL 052-269-2931 FAX 052-269-2933
 富士宮工場	小牧営業所	愛知県小牧市中央 1-271 TEL 0568-73-5209 FAX 0568-73-5219
	四日市営業所	三重県四日市市諏訪栄町 1-12 TEL 059-356-2246 FAX 059-356-2248
	新豊田営業所	愛知県豊田市小坂本町 1-5-3 TEL 0565-36-5115 FAX 0565-36-5116
	三河営業所	愛知県安城市三河安城南町 1-15-8 TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
	盛岡営業所	岩手県盛岡市長田町 6-7 TEL 019-623-9700 FAX 019-623-9701
	秋田出張所	秋田県にかほ市平沢字行七森 2-4 TEL 0184-37-3011 FAX 0184-37-3012
	仙台営業所	宮城県仙台市青葉区上杉 1-6-6 TEL 022-723-2031 FAX 022-723-2032
	新潟営業所	新潟県長岡市千歳 3-5-17 TEL 0258-31-8320 FAX 0258-31-8321
	宇都宮営業所	栃木県宇都宮市東宿郷 5-1-16 TEL 028-614-3651 FAX 028-614-3653
	熊谷営業所	埼玉県熊谷市籠原南 1-312 TEL 048-530-6555 FAX 048-530-6556
	茨城営業所	茨城県牛久市ひたち野東 5-3-2 TEL 029-830-8312 FAX 029-830-8313

事業所所在地	多摩営業所	東京都立川市紫崎町 3-14-2
		TEL 042-522-9881 FAX 042-522-9882
甲府営業所	山梨県甲府市丸の内 2-12-1	
	TEL 055-230-2626 FAX 055-230-2636	
厚木営業所	神奈川県厚木市旭町 1-10-6	
	TEL 046-226-7131 FAX 046-226-7133	
長野営業所	長野県松本市島立 943 番地	
	TEL 0263-40-3710 FAX 0263-40-3715	
浜松営業所	静岡県浜松市中区大工町 125	
	TEL 053-459-1780 FAX 053-458-1318	
金沢営業所	石川県金沢市西念 1 丁目 1-7	
	TEL 076-234-3116 FAX 076-234-3107	
滋賀営業所	滋賀県守山市浮気町 300-21	
	TEL 077-514-2777 FAX 077-514-2778	
京都営業所	京都府京都市伏見区竹田向代町 559	
	TEL 075-693-8211 FAX 075-693-8233	
兵庫営業所	兵庫県明石市樽屋町 8-34	
	TEL 078-913-6333 FAX 078-913-6339	
岡山営業所	岡山県岡山市北区下中野 311-114-101	
	TEL 086-805-2611 FAX 086-244-6767	
広島営業所	広島県広島市中区大手町 3-1-9	
	TEL 082-544-1750 FAX 082-544-1751	
徳島営業所	徳島県徳島市東大工 1-9-1	
	TEL 088-624-8061 FAX 088-624-8062	
松山営業所	愛媛県松山市樽味 4-9-22	
	TEL 089-986-8562 FAX 089-986-8563	
福岡営業所	福岡県福岡市博多区博多駅東 3-13-21	
	TEL 092-415-4466 FAX 092-415-4467	
熊本営業所	熊本県熊本市東区健軍本町 1-1	
	TEL 096-214-2800 FAX 096-214-2801	
大分営業所	大分県大分市東大道 1-11-1	
	TEL 097-543-7745 FAX 097-543-7746	
東京オフィス	東京都渋谷区代々木 2-13-4	
	TEL 03-5358-3593 FAX 03-5358-3968	
尾羽園場	静岡県静岡市清水区尾羽 587-1、587-2	
富士宮農場	静岡県富士宮市内房 1700 番地	

環境管理責任者 : 品質保証課 伊東 真一
連絡先 TEL 054-364-5302 FAX 054-371-4302

事業内容 : 小型産業用ロボット及びそのコントローラーの開発・設計・製造・販売
農業、環境保全技術の研究開発並びその技術供与

事業規模 :

活動規模	単位	2023 年	2024 年	2025 年
売上高	百万円	34,600	36,600	34,000
総従業員	人	1,487	1,497	1,528
床面積	m ²	52,533	114,334	114,334
敷地面積	m ²	739,171	739,171	739,171
圃場面積	m ²	38,454 (尾羽、富士宮)	38,454 (尾羽、富士宮)	38,454 (尾羽、富士宮)

事業年度 : 1 月～12 月

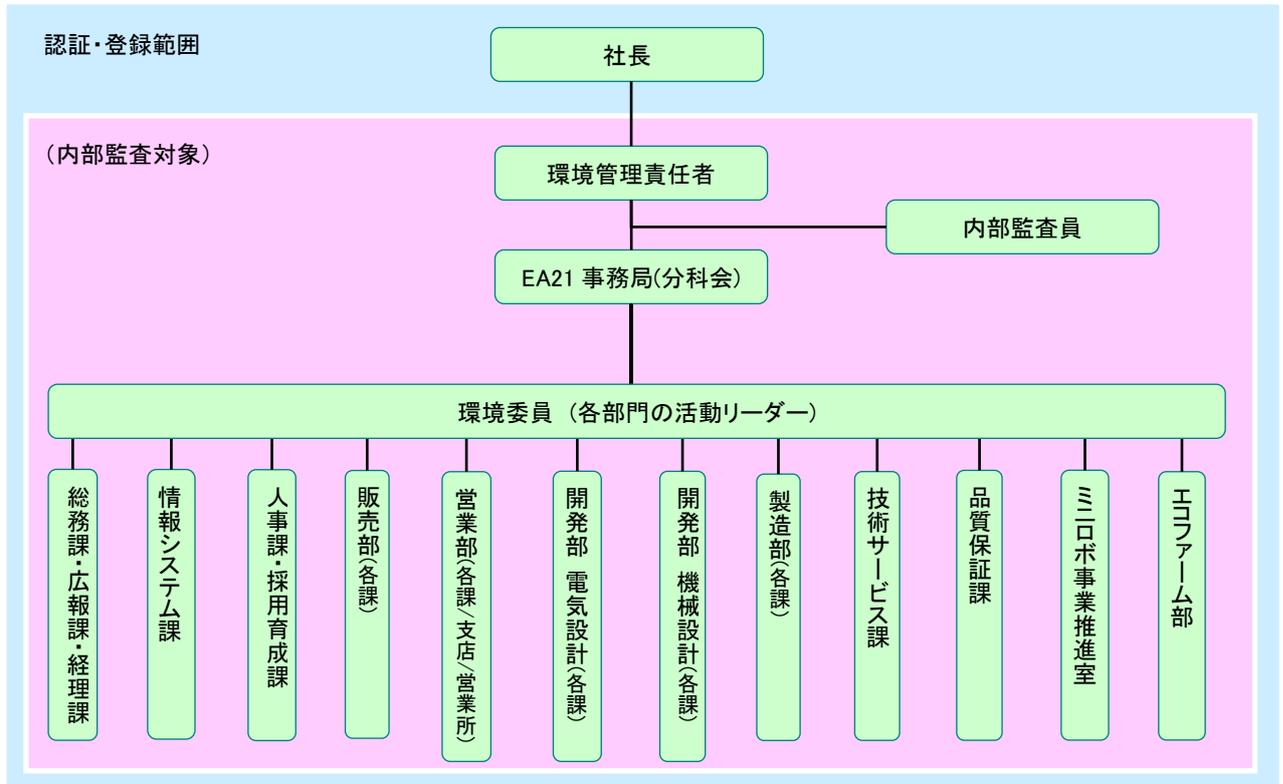
URL : <https://www.iai-robot.co.jp>

1-2 認証・登録の対象組織

登録組織名 : 株式会社アイエイアイ
関連事業所 : 本社・本社工場、尾羽第一工場、尾羽第二工場、富士宮工場、
全営業所(31ヶ所)、東京オフィス、尾羽圃場、富士宮農場
(全組織、全従業員を対象とする)

2 対象範囲

2-1 組織図



2-2 役割分担

組織名称	役割・責任
社長	環境方針を定め活動計画を承認、資源(人材・資金・技術)を用意、システムの取組状況の評価・見直しを実施し必要な指示を行う 見直し・指示は毎年1回実施、環境経営レポートの開示指示 課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	システムの総責任者としての役割権限を他の責任にかかわらず持ち、システムの実績を社長に報告し、指示を受ける 環境経営レポートを社長に報告する
内部監査員	システムの運用・実施状況についての監査
EA21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各分科会メンバーに属し、個別課題を遂行することでEA21の活動を円滑に進める 関係部署の環境委員へ必要な情報を伝達する 環境関連法規等の取りまとめと見直し 環境経営レポートの作成
各部門責任者	自部門におけるEA21の総括責任者 自部門におけるEA21運用指示及び進捗状況の把握 課題とチャンスの明確化
各課課長、各営業所所長	自部門におけるEA21の責任者 自部門において環境活動計画、工程表の立案、進捗状況の監督 課題とチャンスの明確化
環境委員 (各部門の活動リーダー)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門(課)におけるEA21の各部門の活動リーダー (活動計画の遂行、進捗状況の確認・記録・報告、環境負荷実績の確認) EA21事務局会議、分科会での決定事項の展開 (実施対応、連絡・周知・教育、使用化学物質調査、環境方針、変更の周知)

3 環境経営方針

環境経営方針

〔基本理念〕

当社は、省エネルギーに貢献する商品の開発・普及に努めると共に、環境保全に配慮した事業活動を推進します。

〔行動方針〕

- (1) 省資源・省エネルギーに役立つ産業用ロボット及びコントローラー製品を開発し、品質・性能を向上させ、その普及により地球環境の保護に貢献します。
- (2) 化学合成農薬及び化学合成肥料を使用しない農業生産技術と省エネルギー農業生産技術の開発と普及に努め、環境負荷軽減と我が国の農業生産力と食料自給率の向上に貢献します。
- (3) 環境経営方針・目標を定め、省エネルギー、3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動を推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量および水使用量を削減します。
- (4) 化学物質使用量の把握・管理を適正に行います。
- (5) 環境関連法規を遵守します。
- (6) 環境経営レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にします。
- (7) 環境経営方針を全従業員に周知し、全員参加で環境活動に取り組みます。また、定期的な見直しにより、環境経営システムの継続的改善を図っていきます。

制定：平成21年11月16日
改定4：2019年11月8日

株式会社アイエイアイ
代表取締役社長

石田 徹



4 環境経営目標

4-1 2025 年度目標設定について

4-1-1 中期目標(3年)

2024 年度を基準とし、2027 年度まで以下目標値を設定する。

項目	2025 年度目標	2026 年度目標	2027 年度目標
二酸化炭素排出量	-1.0%	-2.0%	-3.0%
一般廃棄物排出量(可燃物)	-1.0%	-2.0%	-3.0%
産業廃棄物排出量	-1.0%	-2.0%	-3.0%
水使用量	-1.0%	-2.0%	-3.0%
環境負荷物質の適正管理	各部門で法規制を遵守し適正管理を実施		
自らが生産・販売・提供する製品	各部門の個別目標値とする		

原単位は以下の通り

- 二酸化炭素排出量 : 売上 1 億円あたり
- 一般廃棄物排出量(可燃物) : 生産台数あたり×0.6+従業員数あたり×0.4
- 産業廃棄物排出量 : 生産台数 1 万台あたり
- 水使用量 : 従業員延べ人数あたり

4-1-2 2025 年度当期目標(中期目標の 1 年目)

環境負荷物質の削減目標は 2024 年を基準値とし以下目標値とする。

- ・ 二酸化炭素排出量 売上1億円あたり -1.0%にする
- ・ 一般廃棄物排出量(可燃物) 生産台数あたり×0.6+従業員数あたり×0.4 -1.0%にする
- ・ 産業廃棄物排出量 生産台数1万台あたり -1.0%にする
- ・ 水使用量 従業員延べ人数あたり -1.0%にする
- ・ 環境負荷物質の適正管理として、各部門で法規制を遵守し適正管理を実施する
- ・ 自らが生産・販売・提供する製品は、関係部門の個別目標値とする

5 環境経営目標と実績

5-1 数値目標及び実績

CO₂排出係数:0.439(kg-CO₂/kWh) ※中部電力㈱2023 年度調整前排出係数

達成率 : (目標値/実績値) × 100[%]

評価 : ○ 達成率 100%以上、△ 達成率 80%~100%未満、× 達成率 80%未満

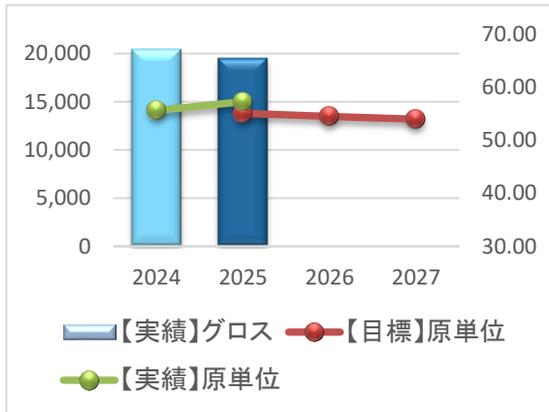
項目	単位	2024 年 基準	2025 年 目標	2025 年 実績	達成率	評価		
二酸化炭素排出量 【原単位】 売上 1 億円 あたり	電気使用量	購入電力 (グロス・MWh)	20,402 (注 1)	20,198 (注 1)	19,463	96.1%	△	
		購入電力 (原単位・MWh)	55.65 (注 1)	55.09 (注 1)	57.30			
	ガソリン使用量	使用ガソリン量 (グロス・百ℓ)	2,092	2,070	1,943	98.6%	△	
		使用ガソリン量 (原単位・百ℓ)	5.70	5.64	5.72			
	LPG 使用量	使用 LPG 量 (グロス・t)	137.48	135.63	122.05	104.6%	○	
		使用 LPG 量 (原単位・t)	0.380	0.376	0.360			
		排出量 (グロス・t-CO ₂)	9,870 (注 1)	9,771 (注 1)	9,383	96.4%	△	
		排出量 (原単位・t-CO ₂)	26.92 (注 1)	26.65 (注 1)	27.64			
	一般廃棄物排出量 【原単位】 生産台数あたり× 0.6+従業員数あたり ×0.4	一般廃棄物 (可燃物)	排出量 (グロス・t)	134.22	120.80	122.55	107.2%	○
			排出量 (原単位・t)	4.42	4.38	4.08		
産業廃棄物排出量 【原単位】 生産台数 1 万台あたり	産業廃棄物	排出量 (グロス・t)	750.53	742.50	521.77	130.8%	○	
		排出量 (原単位・t)	13.72	13.58	10.38			
水使用量 【原単位】 従業員延べ人数 あたり	(上水+地下水)	水使用量 (グロス・m ³)	21,580	21,364	21,177	103.8%	○	
		水使用量 (原単位・m ³)	1.19	1.17	1.13			
環境負荷物質の適正管理	-	各部門で法規制を遵守し適正管理を実施		実施	-	○		
自らが生産・販売・提供する製品	-	各部門の個別目標値とする		実施	-	○		

注 1:2024 年庵原本社・本社工場の電気使用量は、通年換算した値を引用しています。

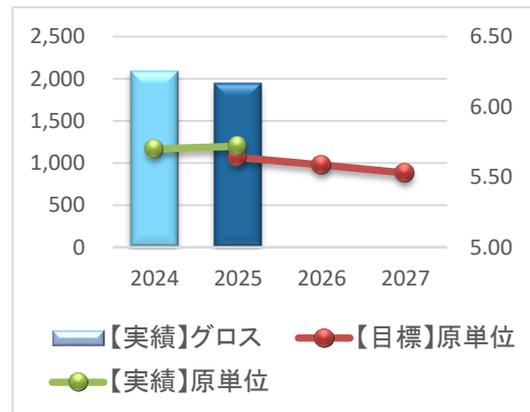
(庵原本社・本社工場の稼働は 2024 年 7 月からだったため、通年換算使用量=電気使用量×2 とした)

5-2 数値目標及び実績のグラフ

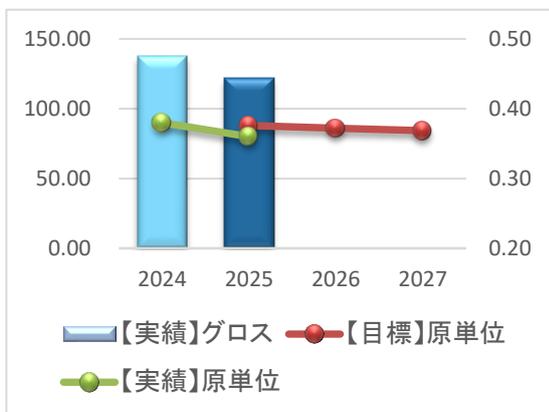
■電力使用量[単位:MWh]



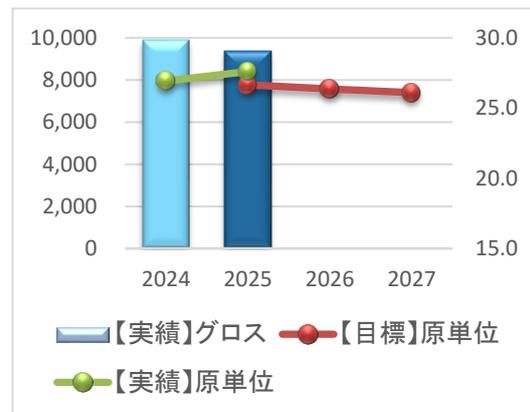
■ガソリン使用量[単位:百ℓ]



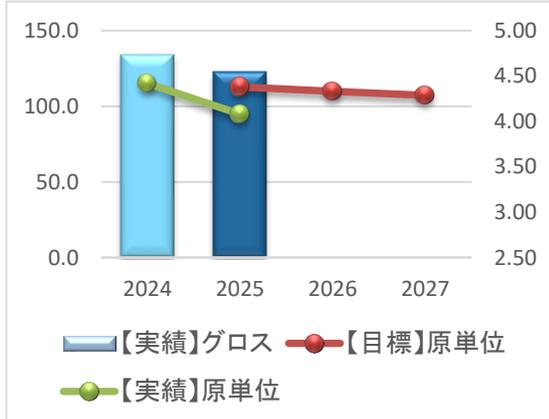
■LPG 使用量[単位:t]



■二酸化炭素排出量[単位:t-CO₂]



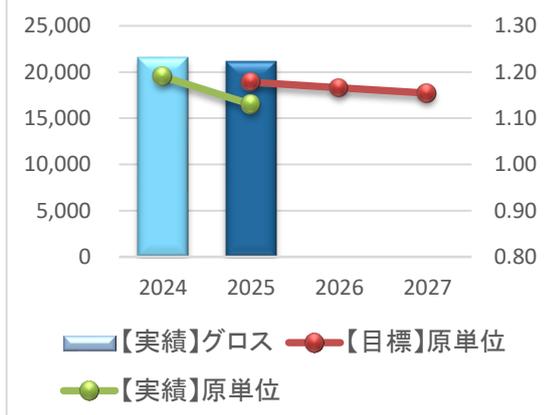
■一般廃棄物(可燃物)排出量[単位:t]



■産業廃棄物排出量[単位:t]



■水使用量(上水+地下水)[単位:m³]



2025 年実績コメント

3年連続未達だった一般廃棄物排出量は達成となった。適切な原単位の設定と全社員の活動推進の結果である。一方、電力使用量は庵原本社・工場の本格稼働により増加した為、CO₂排出量は未達となった。

庵原本社・工場は2024年7月から稼働しており、2024年を基準とすると年間を通じた稼働実績が適切に反映できていなかったことが未達要因である。2026年は、基準を2025年の実績とし目標設定を見直す。

6 環境活動計画と取組事例

6-1 二酸化炭素排出量

6-1-1 活動計画と実績



項目		活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
二酸化炭素 排出量	電気使用量	・加工組立時間 10%削減活動	製造部	・年間削減目標 83,200 時間に 対し 96,200 時間を削減 (達成率 115%)	達成
		・エアー消費量 削減活動	生産技術課	・削減目標 10%に対し、13%削減 を達成	達成
		・ダイカストマシン、 溶解炉の点検・改修 により効率改善	ダイカスト課	・1号機溶解炉にてバーナー 空気比を確認し離型剤塗布 方法の見直しを実施	達成
		・照明 LED 化検討	総務課	・既存部の照明 LED 化実施 尾羽第一工場は未達成	一部 未達成
	・照明及び待機電力の 削減	本社 総務課	・社内駐車場の照明時間削減 ・人感センサー制御による 消灯・点灯管理 ・温水機能付き便座の節電	達成	
ガソリン 使用量	・エコカー導入を推進	全社	・ハイブリッドカーを 15 台導入 ガソリン使用量目標達成	達成	

6-1-2 次年度活動計画

項目		2026 年度活動計画	活動部門
二酸化炭素 排出量	電気使用量	・加工組立時間 10%削減活動(現場改善、作業環境改善により 生産性を向上)を推進(年 87,800 時間/年を削減目標とする)	製造部
		・各工場の設備定期メンテナンス時に周辺機器含めエアー漏れ状況 を診断、漏れ箇所の修理実施	生産技術課
		・引き続きダイカストマシン、ロボット、溶解炉の点検・改修により 効率改善を図る	ダイカスト課
		・尾羽第一工場の照明 LED 化を進める	総務課
	・環境負荷状況を継続的に監視・把握 ・再生可能エネルギー使用促進	全社	
ガソリン 使用量	・エコカー推進(新規/更新時 50%以上エコカー)	全社	

6-2 廃棄物排出量



6-2-1 活動計画と実績

項目	活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価	
廃棄物排出量	一般廃棄物	・分別推進により資源ゴミ増加	・分別推進により可燃物が減少し、資源物が増加した	達成	
		・ペーパータオル全数リサイクル	・ペーパータオルの全数リサイクル実施	達成	
	産業廃棄物	・廃棄樹脂量削減の推進と廃棄物回収回数削減	樹脂成形課	・取出しチャック板採用による成形不良削減 ・金型設計製作標準書を作成、不良が出にくい金型を製作し、成形不良数を削減	達成
			富士宮工場	・リユースのトナー・インク利用により廃プラスチック 27.1kg 削減	達成

6-2-2 次年度活動計画

項目	2026 年度活動計画	活動部門
廃棄物排出量	・更にゴミ分別を明確化しリサイクルを徹底	全社
	・金型設計製作標準書を作成し、使い勝手が良く、不良も出にくい金型を製作し、成形不良数の削減を図る ・成形不良を早い段階で発見することにより成形不良数削減を図る ・金型メンテナンスを強化し、成形不良数を削減することで廃棄樹脂量の削減を図る	樹脂成形課

6-3 水使用量



6-3-1 活動計画と実績

項目	活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
水使用量	・漏水箇所のこまめなチェック実施	全社	・水回りに節水シールを貼り、注意喚起を実施 ・自動水栓の水吐出量調整	達成
	・環境に配慮した工場対応	総務課	・トイレ手洗い自動水栓 ・井戸水ろ過装置と貯水タンクの設置	達成

6-3-2 次年度活動計画

項目	2026 年度活動計画	活動部門
水使用量	・こまめな漏水チェックと漏水危険機器の早期交換を実施	各工場
	・井戸水の有効活用(本社工場、富士宮工場)	総務課

6-4 環境負荷物質の適正管理



6-4-1 活動計画と実績

項目	活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
環境負荷物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷物質(化学物質排出量・使用量)を把握する ・環境関連法規を遵守する 	全社	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷物質(化学物質排出量・使用量)の調査を実施 ・環境関連法規を遵守 ・アブソ電池不搭載機種 of 拡大により、産廃の削減と共に自然界への化学物質流出リスクを低減 	達成

6-4-2 次年度活動計画

項目	2026 年度活動計画	活動部門
環境負荷物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・境負荷物質(化学物質排出量・使用量)を把握する ・環境関連法規改正に応じた対応を漏れなく、遵守する 	全社

6-5 自らが生産・販売・提供する製品



6-5-1 活動計画と実績

項目	活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
自らが生産・販売・提供する製品	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネに貢献する製品の開発 	開発部	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネに貢献する製品の開発(電気代 1日8時間で1.3円) ・当社製品の消費電力量も算出できるソフトを無償提供 ・e-ワイヤリングシステムケーブル資材 80%削減 	達成

e-ワイヤリングシステムとは … 専用ケーブル(母線)を1本這わせ、そこから子線を自由に取り、アクチュエーターにつなぎます。最大16軸まで接続可能です。

項目	活動計画	活動部門	環境活動の取組	評価
自らが生産・販売・提供する製品	<ul style="list-style-type: none"> 当社製品が環境に優しいことを周知 	販売部	<ul style="list-style-type: none"> カタログ、ホームページ、販促資料等による周知 国際ロボット展等各種展覧会への出展による周知 お客様無料セミナーを開催、当社製品の省エネ効果を説明(12,964人受講) 	達成

6-5-2 次年度活動計画

項目	2025年度活動計画	活動部門
自らが生産・販売・提供する製品	<ul style="list-style-type: none"> 製品の小型化(小形部品,軽量部品の採用等)、ネットワーク製品(省配線化)の更なる拡充を行い、環境負荷低減を図る 	開発部
	<ul style="list-style-type: none"> 当社製品が環境に優しいことを周知する 	販売部
	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ推進の無料セミナー開催 	

7 環境保全と地域貢献活動



7-1 富士宮社有林の森林整備について

富士宮工場に隣接する社有森林では、生態系の健全性継続化を促すために杉や檜などの針葉樹林から広葉樹林への転換を推進しています。ただし、2025年は森の保水力を高める為、伐採を1年間休止し、樹木管理を実施しました。



樹木管理の様子

7-2 里山の環境保全及び耕作放棄地の有効活用技術取組事例



7-2-1 田植え・稲刈体験

有機栽培によるうるち米、もち米の栽培や稲作体験教室を実施しました。



田植えの様子



稲刈りの様子



7-2-2 持続可能型農業への挑戦



独自に開発した水耕栽培システムでは肥料や水の管理が容易です。トマトの力を最大限引き出す為、日々管理をし、苗から収穫まで化学合成肥料や農薬を使用せずに安心安全な完全無農薬栽培技術の開発に取り組んでいます。



水耕栽培システムの様子



トマトの無農薬栽培

7-2-3 社有地内のビオトープ

年間を通して環境整備や水位管理を行っており、モリアオガエル(準絶滅危惧種)等の産卵数が増加してきました。また、本年度もホタル観賞会を5月下旬から6月初旬に開催しました。

四季によって様々な景色を見せてくれるビオトープは、他にも様々な生き物(カエル、メダカ、アカハライモリ、ホタル、鴨、蝶々、トンボ、ヘビなど)も生息しています。



ビオトープ



ホタル



ショウジョウトンボ



モリアオガエルの卵塊



モリアオガエルと卵

7-2-4 自然観察会の開催

社内の指導者資格のある社員が先生役を務め、ビオトープ、BBQハウスで子供たちに生き物や植物について説明を実施しました。



BBQハウスでの説明



ビオトープ内での自然観察

7-2-5 緑化優良工場表彰（通称:全国みどりの工場大賞）



富士宮工場では社有林の森林整備や持続可能型農業への挑戦として安心安全な完全無農薬栽培技術の開発にも取り組み、工場緑化の推進に積極的に努力すると共に、周辺地域の生活環境の向上活動も継続して実施しております。2025年はこれまでの活動が評価され、第44回工場緑化推進全国大会において、富士宮工場が「全国みどりの工場大賞」の一般財団法人日本緑化センター会長賞を受賞いたしました。



全国みどりの工場大賞

National Award for Greenery Factory

一般財団法人 日本緑化センターHP <https://www.jpgreen.or.jp/koujiyo/index.html>



富士宮工場全景



表彰状



受賞時の様子(全受賞者、日本緑化センター会長と)



発表時の様子

7-3 環境事故訓練と法規遵守

7-3-1 環境事故訓練



切削廃油の漏洩、火災事故を想定した環境事故対応訓練を、尾羽第一工場加工第一課と尾羽第二工場ダイカスト課で実施しました。

ハウスの構造と風害の特性の講習(台風によるビニールハウスの倒壊や飛散を防ぐことを目的)、及びハウスの台風接近時の対策の実習はエコファーム部で実施しました。



訓練風景(加工第一課)



訓練風景(エコファーム部)

7-3-2 環境関連法規の遵守



環境関連法規の遵守状況を確認する為、作業環境測定(ばい煙、粉じん、特定化学物質)、排水測定、敷地境界騒音測定を実施しています。

7-3-3 環境パトロールの実施



主に、下記事項の確認を目的として、社内全工場の環境パトロールを6月～7月に実施しました。

- ・化学物質・薬品の管理
- ・廃棄物保管場所及び危険物・薬品保管場所等の表示の徹底
- ・フロン規制対象機器の所在や登録
- ・節電・節水対策活動



危険物の保管場所表示



廃棄物の分別表示



節電シール

7-4 地域コミュニケーション



7-4-1 工場見学

近隣小中学校生徒の皆様の工場見学受入れを実施しています。



小中学生の工場見学

7-4-2 地域貢献活動



(1) 本社設置大型ビジョン活用

本社に設置した大型ビジョンを地域のイベント等で活用しています。

(近隣中学校と連携し、体育祭や卒業式等での映像放映等)

(2) 清水みなと祭り・港かっぱれ総踊りへの参加

地元で愛されている清水みなと祭りの港かっぱれ総踊りへ、積極参加しています。

(2025年は総勢134名+スタッフでの参加)

(3) 地元チームである清水エスパルスへのオフィシャルパートナーとしての活動

静岡市との清水日本平運動公園球技場(日本平スタジアム)ネーミングライツ事業において、当社と株式会社エスパルスとの三者による第三期目となるネーミングライツパートナーシップ契約を締結しています。



近隣中学校卒業式向け写真放映



清水みなと祭り・港かっぱれ総踊りへの参加



静岡市とのネーミングライツ事業(IAIスタジアム)

7-4-3 ミニロボ普及活動



ミニロボとは「子供達にもものづくりに興味を持ってもらいたい」「理科離れを防ぎたい」という志のもと開発された組立式のサッカーロボットです。地元静岡の小学校へ出張授業、ユーザー向けの競技会や販売施設運営を行い、教育的な地域貢献活動を行っています。

(1)ミニロボチャレンジ教室

県内小学校約 70 校でミニロボを使った出張授業を開催しました。社員が学校を訪問し、理科の授業、キャリア教育、プログラミング体験、組立体験などの授業を行っています。子供達は楽しみながら、深い学びの実現に向けた学習を行っています。



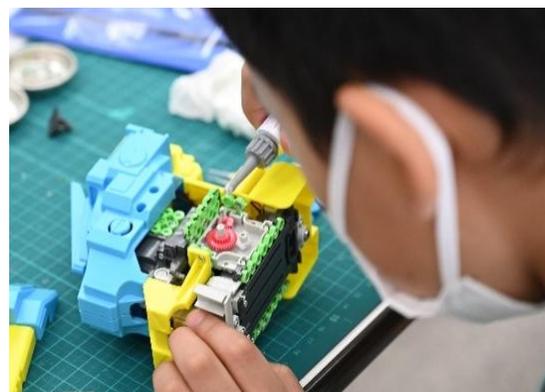
キャリア教育授業風景



プログラミング授業風景

(2)ミニロボプラザ運営

ミニロボプラザとは「ミニロボの大会に向けて練習をしたい」「もっとミニロボを動かしたい」という、子供達の声に応じて開設したものです。利用可能時にはスタッフが常駐し、修理や改造の相談も受け付けており、ミニロボ本体、その他パーツの販売も行っています。



ミニロボ組立作業と試運転の様子

【各プラザの紹介】



ミニロボプラザ清水
(静岡市清水相生町 7-26 セントラルビル 1階)



ミニロボプラザ七間町
(静岡市葵区七間町 12-4 MIRAIE リアンコミュニティホール七間町内)



ミニロボプラザ FDS
(富士市柚木 207-1 FDS 富士自動車学校内)



ミニロボプラザ菊川・未来
(菊川市半済 1890 しずおか未来カレッジ横)

(3) 競技会運営

子供から大人まで集い、組立・改造したミニロボでサッカーの競技会を行っています。試合では激しくボールを奪い合い、華麗にドリブル・シュートを決めています。日々改造や練習を重ねた参加者たちが優勝を目指し、真剣勝負を繰り広げています。



試合中の様子



優勝者賞状授与

7-4-4 障がいのある方や若年世代へのスポーツ機会の創出



(1) IAI パラスポーツパークでの大会の開催

昨年開設した IAI パラスポーツパークでは、2025 年 1 年間で計 14 回のパラスポーツ大会を開催しました。

大会の運営においては当社だけでなく、NPO 法人静岡 FID サッカー連盟と協賛企業、地域の賛同者がボランティアスタッフとして活動を支援しております。また、パラスポーツの体験会、マルシェ、大道芸、地域のチアダンス、スポーツ少年団、スタジアム DJ など多くの個人や団体の皆様にもご協力を頂き、プロジェクトは支えられています。今後もパラスポーツの普及・拡大に向けて、活動を続けていきます。



IAI パラスポーツパーク パラフットエリア



車いすエリアでのイベント風景



ブラインドフットボール大会の様子



ホットチャアブレイズ杯集合写真

(2) IAI パラスポーツパークが「スポーツ庁長官賞」を受賞

スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりを促進し、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に貢献した団体、企業等を顕彰する「第 13 回スポーツ振興賞」にて、IAI パラスポーツパークが「スポーツ庁長官賞」を受賞しました。

パラスポーツの普及・拡大に向け、企業や団体、地域の関わり方について全国に発信出来るものであり、地域に賑わいと多様な人の繋がりを創出するものであると評価されました。



受賞パネル内容



受賞時の様子(全受賞者と NPO 法人静岡 FID サッカー連盟 瀬戸協代表)



(3) ネーミングライツパートナーシップ契約を通じたスポーツ機会の創出

静岡市のスポーツ振興への貢献を目的に、静岡市および株式会社エスパルスと清水日本平公園球技場ネーミングライツパートナーシップ契約を締結。契約に規定する球技場無償使用权に基づく事業として、2025 年は IAI 静岡県チャイルドサッカー大会 in 日本平(9 月 27 日)、全国少年少女草サッカー大会(12 月 28 日)を開催し、多くの世代にサッカーを楽しんでもらう機会を創出しました。



IAI カップ静岡県チャイルドサッカー大会

7-5 継続的な人材の育成(技能五輪への挑戦)



2021 年より技能向上と人材育成を目的として、技能五輪全国大会フライス盤競技に 23 歳以下の若手社員が挑戦しています。技能五輪全国大会フライス盤競技では部品図の加工要素や公差を理解し、加工工程の検討や正確な測定ができる技能が求められます。

全国大会では日本を代表する大手企業の代表選手と競い、2022 年に銀賞、2023～2025 年は 3 年連続で敢闘賞を受賞することができました。2026 年も更なる技能向上と上位入賞を目指し挑戦します。



第 63 回大会課題



2025 年 IAI 代表選手 2 名の練習風景



第 63 回大会敢闘賞メダル



8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規制の遵守状況を確認した結果、利害関係者からの環境に関するクレーム、苦情はありませんでした。(法令違反、訴訟等はありません。)

法規などの改定(最新版)確認日:2026年1月31日

遵守確認実施日:2026年2月20日

遵守確認者:環境管理責任者 伊東真一

法規・条例・規制の名称	細目	遵守状況
工場立地法	工場建設時の届出	遵守
土壌汚染対策法	工場建設時の届出	遵守
消防法	防火管理者の選任 危険物保管量の管理、届出	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) (一般廃棄物多量排出事業所減量化指導要綱:静岡市) (事業系一般廃棄物の減量化等に関する指導要綱:富士宮市)	・電子マニフェスト発行 ・事業系一般廃棄物減量化計画、 一般廃棄物排出量報告 ・事業系一般廃棄物管理責任者選任届	遵守
静岡市産業廃棄物適正処理条例	産廃処分委託先の現地確認 (委託先が優良業者である場合は、現地確認不要)	遵守
静岡市廃棄物の処理及び減量に関する条例	適正処理及び再生利用の促進等による減量	遵守
資源有効利用促進法	・原材料等の使用の合理化 ・再生資源及び再生部品を利用	遵守
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	・特定家庭用機器廃棄物の排出抑制 ・特定家庭用機器廃棄物の再商品化の協力	遵守
浄化槽法	設置届出 法定検査(第11条) 保守点検 定期清掃	遵守
労働安全衛生法 (労働安全衛生施行令、労働安全衛生規則) ・粉塵障害防止規則 ・特定化学物質障害予防規則 ・有機溶剤中毒予防規則	危険・有害物質の管理 粉塵測定 機械等設置届(局所排気装置摘要書) 化学物質による健康障害の防止 有機溶剤による健康障害の防止	遵守
騒音規制法 振動規制法 静岡県生活環境保全等条例	特定施設(コンプレッサー、成形機等)の届出 "	遵守
大気汚染防止法 (静岡県生活環境保全等に関する条例)	特定施設(ばい煙・粉塵発生施設、 ばい煙測定	遵守

水質汚濁防止法 (静岡県生活環境保全等に関する条例)	特定施設(高周波焼入れ装置、ダイカストマシン)の届出、排水測定	遵守
PRTR法	対象物質(第1種指定化学物質)の届出	遵守
毒物及び劇物取締法	盗難漏洩防止処置 毒劇物の施錠管理、容器表示、台帳管理等	遵守
農薬取締法	使用基準の遵守	遵守
省エネルギー法	<ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギー管理統括者の選任 ・ エネルギー管理企画推進者の選任 ・ エネルギー管理員の選任 ・ 中長期計画書の提出 ・ 定期報告書の提出 	遵守
温暖化対策推進法	・排出した温室効果ガス算定量の提出	遵守
静岡県地球温暖化防止条例 (温室効果ガス削減計画制度)	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出削減計画書の作成・提出 ・削減報告書の作成・提出 	遵守
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易、定期点検 ・廃棄時のフロン回収(業者) 	遵守
環境保全に関する協定書 (富士宮市)	<ul style="list-style-type: none"> ・排水、廃棄物の適正処理 ・自然環境の保全 ・関係諸法令の遵守 	遵守
RoHS 指令 10 物質(顧客要求事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・法規制の遵守 ・顧客要求の遵守 	遵守
REACH 規制(顧客要求事項)	・顧客要求の遵守	遵守

9 代表者による全体評価と見直し結果

【総合評価】

前年未達だった一般廃棄物は、目標を達成できたことは良かった。
従業員全員の廃棄物減量の意識が向上した結果と捉えています。
これを継続してください。

新本社・工場の稼働により、二酸化炭素排出量(電気使用量)が増加しています。
生産効率をあげる、熱源のロスやエアリー漏れを減らすなど工夫をして、
無駄な電力消費だけはしないよう、身近な節電を徹底してください。

【環境経営方針の見直し】

変更はありません。

【環境目標/環境計画の見直し】

庵原本社・本社工場の稼働は2024年7月からだったため、
2024年を基準とした場合、年間を通じた稼働実績が適切に反映できていなかった。
2026年は、基準を2025年実績として目標設定を見直す。

【実施体制の見直し】

変更はありません。

【具体的な取組み】

エコアクション 21 ガイドライン 2017年版の推進・改善

<施策>

2026年度 新環境目標の達成

製品含有化学物質管理の推進・改善

日付：2026年3月26日

代表取締役社長

石田 徹